




死亡災害等速報

“ 労災による死亡者を、悲しみをゼロに ”

長野労働局

災害発生月	令和4年12月
事業の種類	その他の製造業
災害の概要 (注1)	<p>被災者は、油圧式フロアジャッキを用いて、フォークリフトマストの下部をジャッキアップポイントとしてフォークリフト前方を持ち上げて、車体の下に潜り込んで車体の点検整備を行っていたところ、降下した車体の下敷きになった。</p> <p>なお、同事業場では、フォークリフトの点検整備はほとんど行っていなかった。</p> 
災害防止のためのポイント (注2)	<p>ジャッキのみで支持したフォークリフト車体の下に潜り込んで行う作業は、厳禁とすること。</p> <p>車体の下に潜り込んで作業を行う場合は、車体が不意に降下することが無いよう、左右両側マスト下部及び車体の両側面に介木(写真赤矢印部)を設置してから、作業を行うこと。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="549 1066 895 1294">  <p>【マスト下部の介木】</p> </div> <div data-bbox="1023 1061 1374 1294">  <p>【車体下部の介木】</p> </div> </div> <p>注) マスト下部のみの介木の設置では、フォークリフトマストの油圧が抜けるとマストが後傾し、車体が降下するので、必ず車体両側面にも介木を設置すること。</p> <p>経験のない危険な作業を安易に行うことは避け、当該作業を行う場合には危険性等を調査し、作業方法の検討や安全教育等を十分に実施すること。</p> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【 ジャッキアップ作業の留意点 】</p> <p>使用するジャッキについて、次の点について作業開始前点検を実施すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 各部の変形亀裂の有無 ✓ オイル漏れ、自然降下の有無 <p>ジャッキアップは、平坦な場所で行うこと。</p> <p>フォークリフトマストの下部をジャッキアップポイントとしてフォークリフト前方を持ち上げる場合は、車体が動かないよう後輪の後部に輪止めをすること。</p> <p>介木は角が摩耗したり、ひび割れの無いことを確認し、同じ高さのものを使用すること。</p> </div>

本資料は、発生した災害の責任を問うためのものではない。

注1) 本速報時点までの所轄労働基準監督署による調査をもとに、長野労働局が作成・推定したものであり、今後、調査が進む過程で新たな事実が判明すること等がある。イラストはイメージ。

注2) 同種災害防止のため、関係する指針・ガイドライン・通達をはじめ、一般的な災害防止対策等を示したものであり、必ずしも本件災害自体に対応したものとは限らない。